

富山県感染症発生動向速報

(2026 年第 2 週分・1 月 5 日～1 月 11 日)

■今週の主な動向

○インフルエンザの報告数は今週 7.83 人/定点となり、流行が継続しています。

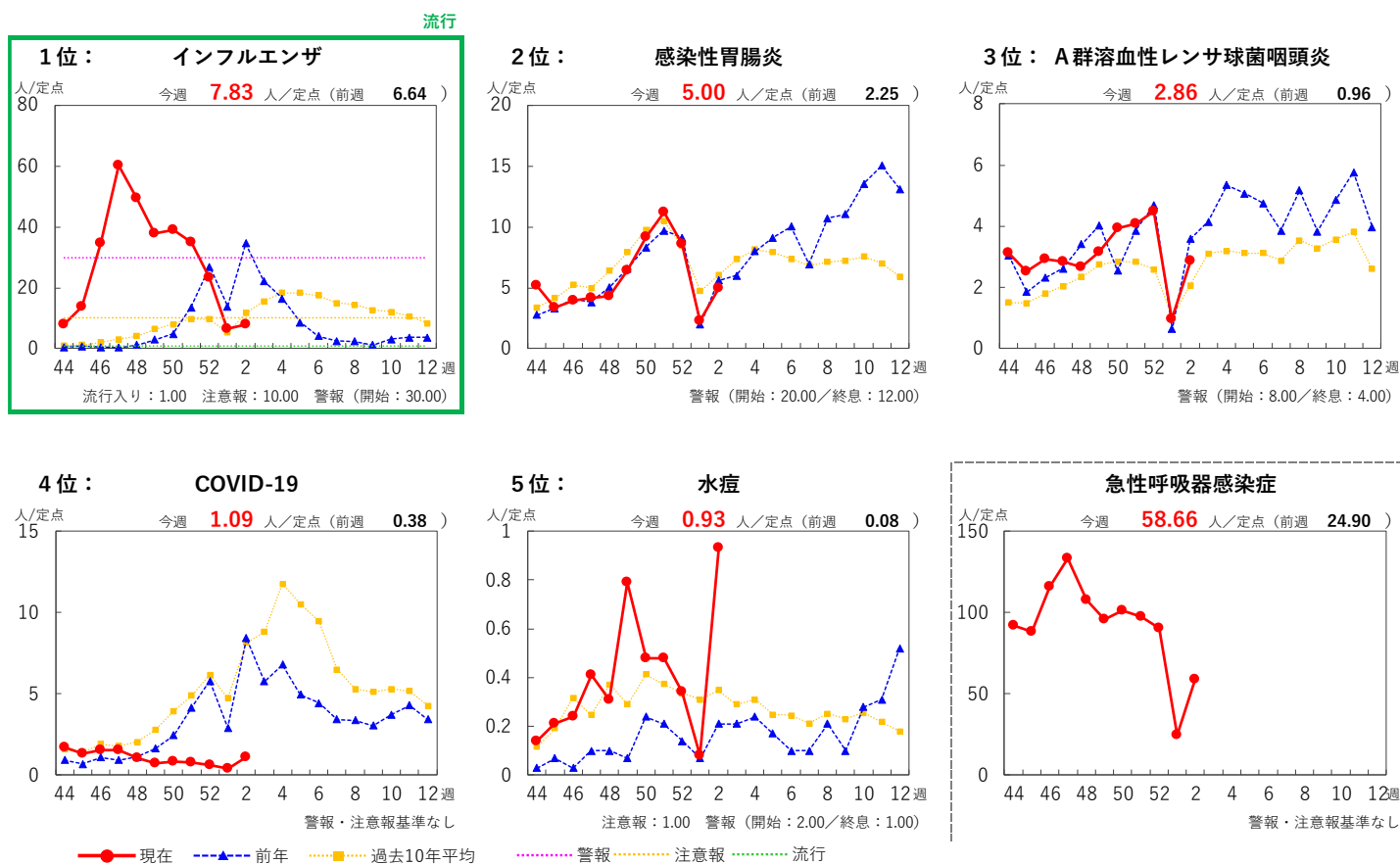
型別検出割合は A 型 80.7%、B 型 10.9% であり、B 型の検出割合が増加傾向です。引き続き手洗いや咳エチケット、換気などの基本的な感染対策を心がけましょう。(インフルエンザの疫学所見、2025 年第 51 週インフォメーション参照)

○水痘の報告数は今週 0.93 人/定点となり、例年より多い状況です。

水痘は、感染力が強いウイルス感染症で、空気感染、飛沫感染、接触感染で人から人へ伝播します。水痘はワクチンで予防可能な疾患です。定期接種対象の生後 12～36 か月の間に 2 回の接種を必ず受けましょう。(2025 年第 22 週インフォメーション参照)

■定点報告の感染症

今週の富山県内上位 5 疾患 + 急性呼吸器感染症 (第 2 週・1/5～1/11)



厚生センター (保健所) 管内別、直近の推移: <https://www.pref.toyama.jp/1279/kansen/#b1>

■全数報告の感染症

二類感染症 結核 1 件 (20 歳代、女性)

四類感染症 レジオネラ症 2 件 (①70 歳代、男性、肺炎型 ②90 歳以上、女性、肺炎型)

五類感染症 百日咳 3 件 (①10 歳未満、女性 ②10 歳代、男性 ③30 歳代、男性)



熱

痛

痛

のどが
痛あ〜い！

2026 年 1 月 14 日発行

富山県感染症発生動向速報（2026 年第 2 週分・1 月 5 日～1 月 11 日）

発熱・のどの痛み 溶レン菌感染症 にご注意

《 インフォメーション 》

● A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎（溶レン菌感染症）

A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎は A 群溶血性レンサ球菌（Group A *Streptococcus*: GAS）による上気道感染症であり、小児科定点把握疾患となっています。

今週（第 2 週）の富山県の GAS 咽頭炎の報告数は、定点医療機関あたり 2.86 人でした（図）。例年冬から春にかけて報告数が多くなる傾向があります。2023 年から 2024 年

の冬には、警報開始基準の 8.00 人/定点を超える大きな流行がありました。2017 年以降に国内に侵入した病原性の高い M1_{UK} 系統株が劇症型溶血性レンサ球菌感染症や GAS 咽頭炎の増加に関与した可能性が示唆されています（[IASR 2024;45:29-31](#)）。また、富山県においても M1_{UK} 系統株が小児の GAS 咽頭炎患者から分離されています（[IASR 2025;46:19-20](#)）。2025 年には冬から春にかけての報告数は 2024 年と比較して少ないものの、新型コロナウイルス感染症流行前の 2015～19 年に比べて報告数は多い傾向でした。引き続き今後の発生動向に注意が必要です。

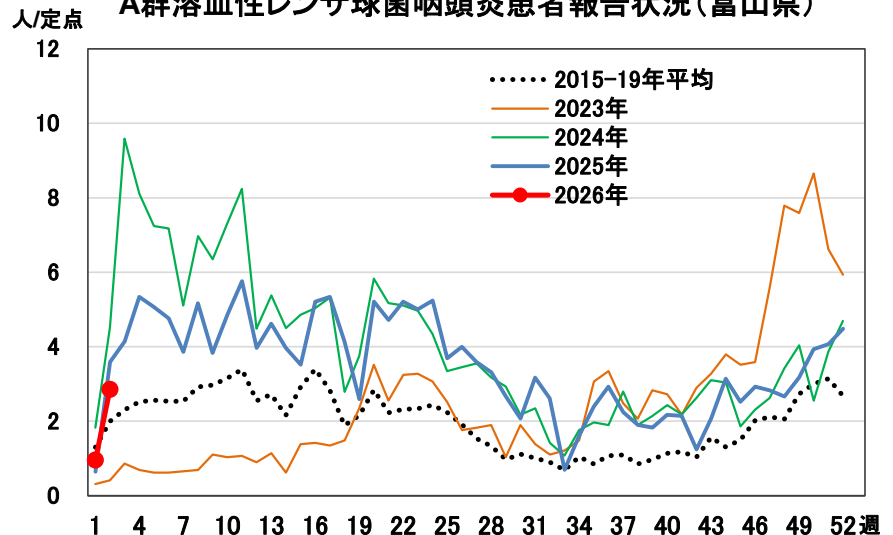
本感染症の潜伏期間は 2～5 日であり、突然の発熱（38～39℃）やのどの痛み、全身倦怠感によって発症し、しばしば嘔吐を伴います。また、肺炎や急性糸球体腎炎等の合併症を起こすことがあります。菌が産生する発赤毒に免疫のない人は、体や手足に小さく赤い発疹、舌に赤いブツブツ（莓舌）ができる猩紅熱を起こします。

本感染症はペニシリン系抗菌薬等の投与により治療できるため、治療経過は一般的に良好です。しかし、症状が消失しても医師が処方した期間まではしっかりと薬を飲み続けることが大切です。途中で飲むのを止めた場合には、菌を完全に排除することができず、再発することがあります。

患者の年齢は 5 歳をピークに幼児から学童期の小児が中心です。感染経路は主に飛沫、接触感染で、患者との濃厚接触を避けることが重要です。

感染予防のために、手洗いや咳エチケットを心がけましょう。

A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎患者報告状況（富山県）



○感染症発生動向調査報告状況（2026年第2週 2026年1月5日～2026年1月11日）

分類		疾患	今週報告分（第2週）					累積報告数（2026年第1週（2025年12月29日）～）							
			新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	
全数把握	二類感染症	結核					1	1			1		1	2	
		（再掲）結核：無症状病原体保有者を除く									1		1		
	四類感染症	レジオネラ症	1			1		2	1			1		2	
	五類感染症	百日咳	1				2	3	1				2	3	
定点把握（上段：報告数、下段：定点医療機関当たりの報告数）	急性呼吸器感染症（ARI）定点（47定点）	急性呼吸器感染症（※1）	357	210	843	319	1,028	2,757	559	339	1,126	348	1,356	3,728	
			51.00	42.00	64.85	45.57	68.53	58.66							
		インフルエンザ	63	43	120	48	94	368	159	72	180	76	140	627	
			9.00	8.60	9.23	6.86	6.27	7.83							
		COVID-19	14	9	7	7	14	51	25	10	8	7	16	66	
	2.00		1.80	0.54	1.00	0.93	1.09								
	小児科定点（29定点）	R Sウイルス感染症	2		1		2	5	4		4		2	10	
			0.50		0.13		0.20	0.17							
		咽頭結膜熱	2	1	6		6	15	4	1	7		7	19	
			0.50	0.33	0.75		0.60	0.52							
		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	5	3	25	15	35	83	7	3	37	15	44	106	
			1.25	1.00	3.13	3.75	3.50	2.86							
		感染性胃腸炎	20	8	27	8	82	145	39	13	29	8	110	199	
			5.00	2.67	3.38	2.00	8.20	5.00							
		水痘		2	6	4	15	27		2	7	4	16	29	
				0.67	0.75	1.00	1.50	0.93							
		手足口病			1		1	2			1		1	2	
					0.13		0.10	0.07							
		伝染性紅斑	1		1	3		5	1		2	4	1	8	
			0.25		0.13	0.75		0.17							
		突発性発しん	1		5	1	2	9	1		5	1	4	11	
			0.25		0.63	0.25	0.20	0.31							
		ヘルパンギーナ	2					2	2					2	
			0.50					0.07							
		流行性耳下腺炎					2	2						2	2
							0.20	0.07							
	基幹定点（5定点）	マイコプラズマ肺炎	2		1			3	3		1			4	
			2.00		1.00			0.60							
入院サーベイランス（5定点）	インフルエンザ による入院患者（※2）	1	7	1	3	3	15	36	23	34	29	69	191		
					1	2	3	1	1		1	3	6		

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

※1 急性呼吸器感染症は2025年第15週（4/7～）より開始しました。（参考：<https://www.pref.toyama.jp/1279/kansen/topics/ari/>）

※2 インフルエンザによる入院患者累計報告数は、2025年第36週（9/1～）の集計です。

インフルエンザ情報（富山県の型別患者報告状況）

このデータは、定点医療機関で実施されたインフルエンザ迅速診断キットの診断数を集計したものです。

現在、下の表によると、A型が80.7%、B型が10.9%となっています。

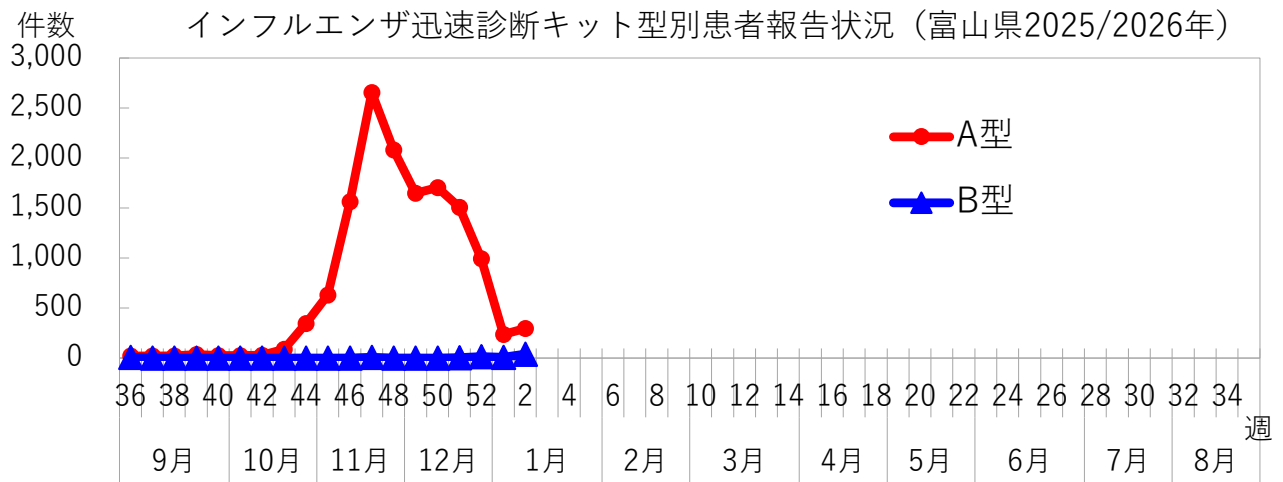
第2週（1/5～1/11）：富山県 7.83人/定点

（単位：件）

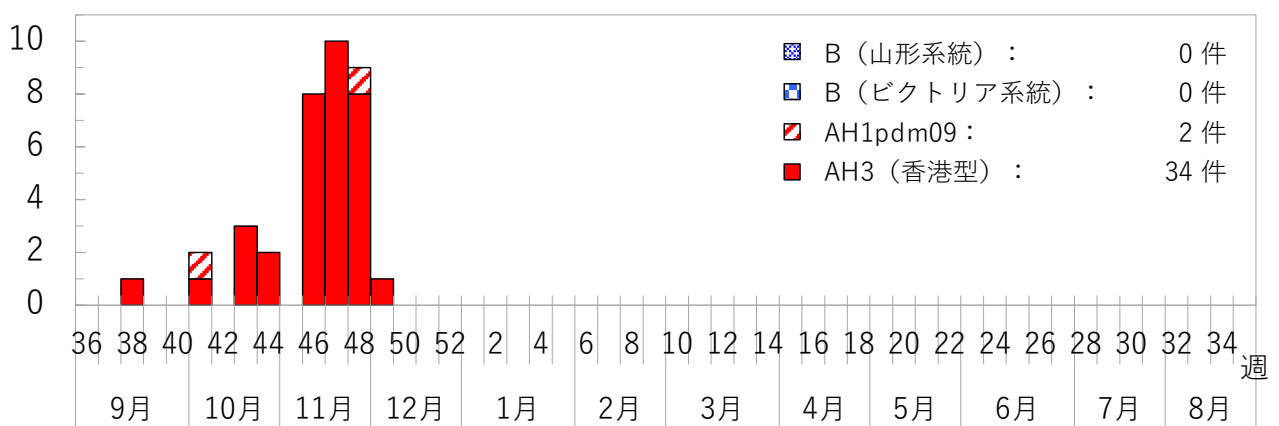
厚生センター・ 保健所名	報告数/定点数	迅速診断キット		その他※2	合計
		A型	B型		
新川	7 / 7	44	16	3	63
中部	5 / 5	29	6	8	43
高岡	13 / 13	97	5	18	120
砺波	7 / 7	45	3	0	48
富山市	13 / 15	82	10	2	94
富山県	45 / 47※1	297	40	31	368
富山県累計（2025年36週～）		13,937	95	1,211	15,243

※1 47の定点医療機関のうち、インフルエンザと診断した医療機関が45か所あったことを示します。

※2 「その他」には、臨床症状等によりインフルエンザと診断したが型別までは不明な患者や迅速診断キットの結果がA型とB型共に陽性の患者が対象となります。



件数（参考）インフルエンザウイルス検出状況（富山県2025/2026年）



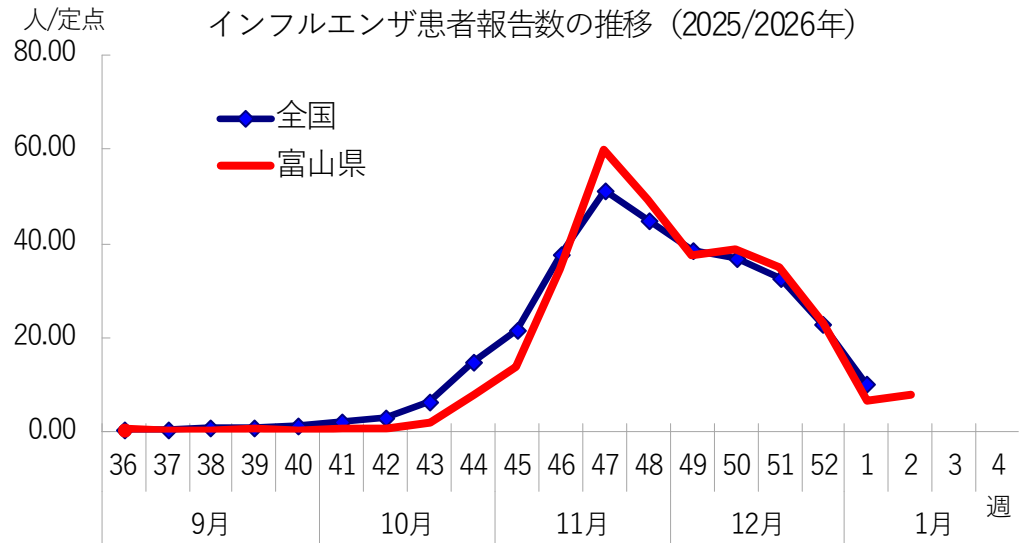
インフルエンザ情報（全国、富山県の患者報告状況）

● 定点医療機関からのインフルエンザ患者報告状況 第 2 週（1/5～1/11）

富山県 7.83 人/定点 [新川 (9.00)、中部 (8.60)、高岡 (9.23)、砺波 (6.86)、富山市 (6.27)]

今週の県内の患者報告数は、7.83 人/定点となり、先週 (6.64 人/定点) より増加しました。

インフルエンザ患者報告数の推移（2025/2026 年）

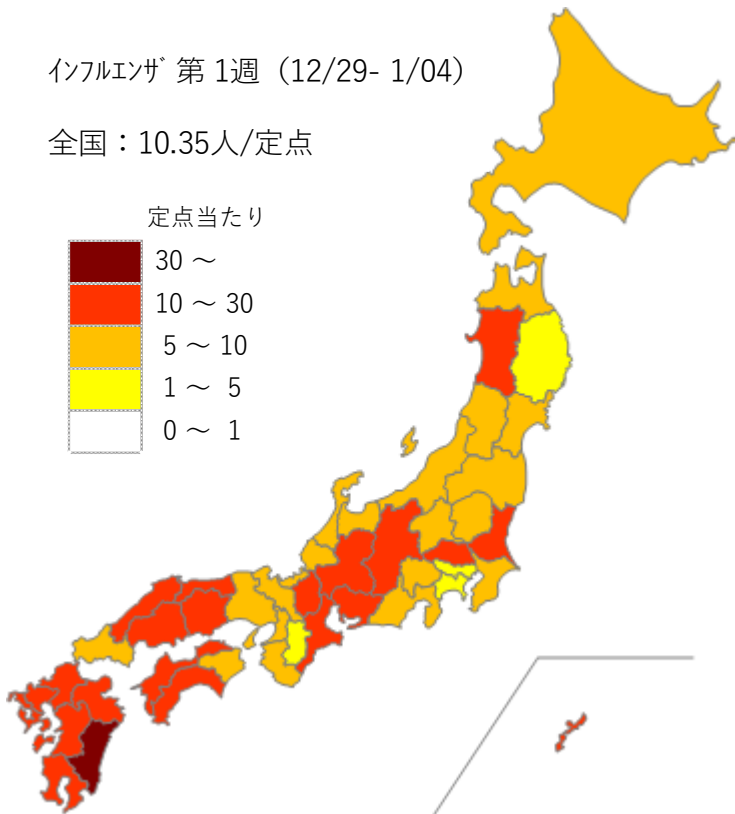
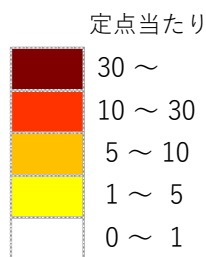


● 都道府県別インフルエンザ患者報告状況 第 1 週（12/29～1/4）

全国の患者報告数は、定点医療機関あたり 10.35 人となり、前週の 22.77 人より減少しました。3 県で前週より増加しています。44 都道府県で前週より減少しています。

インフルエンザ 第 1 週（12/29- 1/04）

全国：10.35 人/定点



都道府県	人/定点	都道府県	人/定点
北海道	7.47 ↓	滋賀県	12.23 ↓
青森県	8.93 ↓	京都府	9.31 ↓
岩手県	4.98 ↓	大阪府	6.56 ↓
宮城県	5.31 ↓	兵庫県	7.50 ↓
秋田県	13.55 ↑	奈良県	3.41 ↓
山形県	9.46 ↓	和歌山県	7.58 ↓
福島県	9.71 ↓	鳥取県	13.31 ↓
茨城県	17.64 ↓	島根県	18.05 ↓
栃木県	9.28 ↓	岡山県	10.78 ↓
群馬県	9.58 ↓	広島県	12.21 ↓
埼玉県	14.87 ↓	山口県	7.16 ↓
千葉県	7.38 ↓	徳島県	9.52 ↓
東京都	4.89 ↓	香川県	15.70 ↓
神奈川県	4.79 ↓	愛媛県	17.04 ↓
新潟県	8.65 ↓	高知県	17.00 ↓
富山県	6.64 ↓	福岡県	20.29 ↓
石川県	6.02 ↓	佐賀県	10.68 ↓
福井県	8.23 ↓	長崎県	17.73 ↓
山梨県	5.03 ↓	熊本県	14.30 ↓
長野県	13.60 ↓	大分県	17.21 ↓
岐阜県	19.70 ↑	宮崎県	38.71 ↓
静岡県	6.94 ↓	鹿児島県	23.19 ↓
愛知県	11.87 ↓	沖縄県	23.18 ↑
三重県	12.37 ↓	全国	10.35 ↓



○感染症発生動向調査報告状況（2025年12月分）

五類感染症 定点把握 月報対象疾患 (上段…報告数、下段…定点医療機関当たりの報告数)		12月報告分						累積報告数					
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計
STD定点 (10定点)	性器クラミジア感染症	1		2		4	7	4	1	24		71	100
		1.00		0.67		1.00	0.70						
	性器ヘルペスウイルス感染症		1	2		4	7		14	7		54	75
			1.00	0.67		1.00	0.70						
	尖圭コンジローマ					3	3		2	2	5	19	28
						0.75	0.30						
基幹定点 (5定点)	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	1		1	1	2	5	14	12	32	17	48	123
		1.00		1.00	1.00	2.00	1.00						
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症							1				1	2

本月報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。